

食の感動で、  
この星を満たせ。

**TORIDOLL→**



どうしようもなく食べたくなる。

店に行くたびに驚きがある。

味覚だけでなく、五感までも揺さぶられ

食べ終わるのが惜しくなって、

また明日も来たくなる。

本能が歓ぶほどの圧倒的な感動体験で、

目の前のお客さまを、世界中の人々を

毎日ワクワクさせ続けよう。

食の感動に、国境などない。

これからも予測不能な進化を遂げ続けて、

人類を幸せで満たしながら、

食の世界の頂へと駆け上がれ。

それができるのは、きっと私たちしかないから。

平素は、格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループでは、真のグローバルフードカンパニーとなることへの強い意志のもと、新たにコーポレート・スローガン「食の感動で、この星を満たせ。」を定めました。

感染症の影響が続くことに加え、ますます不明瞭になる世界の社会情勢の中で、飛躍的な成長を遂げる。そのためには当社グループの事業の根幹たる食の感動体験を、いかに世界中に拡げていくか、このことに尽きると考えています。

そして、食の感動体験自体も、継続的に進化・発展させていきます。既存業態の顧客体験に一層の磨きをかけると同時に、M&Aなどを通じて世界中から新たに食の感動体験を体現する業態を事業ポートフォリオに加えるべく、積極的に投資をしていきます。

ヴィーガンやハラルなどの新しい食文化、そして消費者の健康、原材料のサステナビリティなど、食における「感動」のあり方は、これまでにない広がりを見せています。私自身、決して終わることがない、飽くなき食の感動の探求に、奮い立つ思いです。

一方で、食の感動体験を体現するのは、店舗であり、従業員1人1人です。こうした認識のもと、当社グループは従業員教育

制度などの抜本的な見直しに取り組んでいます。

このような投資が事業成果として花開くには時間を要するかもしれません。しかし、「食の感動で、この星を満たせ。」を体現し、ひいては食の世界の頂きへと駆け上がる一、そのために我々が為さなければならないことはまだまだたくさんあると考えています。

当第2四半期の業績は、前年同期比で売上収益と事業利益が増収増益となり、上期として過去最高を更新しました。一過性要因の入り絡りで営業利益、四半期利益は前年同期比では減益となりましたが、期初計画比では大幅な増益となったため、通期連結業績予想を上方修正しました。

この修正計画は5月に公表した中長期経営計画の売上収益と事業利益の来期目標を1年前倒しで達成する水準に迫り、中長期経営計画の着実な進捗を示しております。

今後も予測不能な進化を遂げていくトリドールグループに、一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社トリドールホールディングス  
代表取締役社長兼CEO

栗田 貴也

### 【業績に関する情報】

2023年3月期の第2四半期連結業績および計画については、2022年11月11日にホームページに掲載した決算資料をご参照ください。  
<https://www.toridoll.com/ir/library/account.html>

### 【統合報告書を発行】

当社グループ初の統合報告書「TORIDOLL REPORT2022」を2022年10月18日にホームページで公開しました。当社グループが掲げる「食の感動で、この星を満たせ。」を実現する上で、根源たる「食の感動体験」と、その継続的な発展・進化を通じた様々な価値創造のあり方をお伝えし、ステークホルダーの皆様との対話を通じて更なる価値の創造につなげることを目的にしたものです。ぜひご覧ください。  
<https://www.toridoll.com/csr/index.html>

### 【株主優待券の贈呈】

年2回、毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿にそれぞれ記載された当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様に、当社グループの国内店舗でご利用いただける優待券を贈呈いたします。  
詳細は当社ホームページをご参照ください。  
<https://www.toridoll.com/ir/investor/shareholder.html>

[www.toridoll.com](http://www.toridoll.com)

ホームページで最新のトピックスやIR情報など様々な情報を発信しています。



株式会社トリドールホールディングス

東証プライム市場 証券コード：3397

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目21-1 渋谷ソラスタ19階

